

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語3	
科目基礎情報							
科目番号		3C06		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科		生物応用化学科		対象学年	3		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		なし（ハンドアウトを使用して授業を行う）					
担当教員		白井 龍馬					
到達目標							
1. 「英語で学ぶ」経験を通して、英語 4 技能をバランスよく伸ばすだけではなく、英語で様々なタスクをクリアする汎用能力も高めていく。 2. 諸社会問題について英語で考えを論じるために必要な語彙や文法を習得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
英語運用能力		英語で提示される学習内容を理解し、それに対して自分が考えたことや感じたことなどを表現できる。		学習内容が英語で提示されたとき、それについて理解できる。		英語で提示された内容が理解できない。	
汎用能力		提示された内容について、クラスメイトの考えや感想を踏まえて自分の意見を相対化させ、発展させることができる。		提示された内容について、考えたことや感じたことを適切な方法で他者に伝えることができる。		提示された内容について感想や考えをもつことができない。	
語彙、文法、構文		ハンドアウト本文で使用されている語彙や文法や構文の80%を習得する。		ハンドアウト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得する。		ハンドアウト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 4							
教育方法等							
概要		これまでに習得した語彙・文法・構文の知識に基づいて、提示された内容について英語で理解し、対話しながら学びを深めていく。					
授業の進め方・方法		授業はハンドアウトに沿って進める。教師の一方的な解説の時間はほとんどなく、学生同士が対話しながら授業内容を徐々に深めていく。					
注意点		(1) 定期試験50%、課題提出50%を目安として評価する。 (2) 評価基準：60点以上を合格とする。 (3) 再試験：必要に応じて実施するが、授業に参加し、課題を提出した学生を対象とする。 (4) 学修単位：本科目は学修単位であるため、1単位当たり 45 時間（授業 15 時間に対して 30 時間に相当する授業以外）の学修が必要である。毎回の授業にて指定される課題について取り組む。					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業の概要の説明、デモレクソン		
		2週	What is a good society?-1		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		3週	What is a good society?-2		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		4週	What is a good society?-3		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		5週	復習(1-3)		英文の内容や語彙などの文法要素を復習する。		
		6週	What is a good society?-4		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		7週	What is a good society?-5		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		8週	What is a good society?-6		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
	2ndQ	9週	復習(4-6)		英文の内容や語彙などの文法要素を復習する。		
		10週	プレゼンテーション準備		テーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする。		
		11週	プレゼンテーション		クラスメイトにプレゼンテーションを行う。		
		12週	speaking test-1		speaking testを受ける。テストがない学生はオンラインの課題に取り組む。		
		13週	speaking test-2		speaking testを受ける。テストがない学生はオンラインの課題に取り組む。		
		14週	試験対策		試験の傾向を説明し、対策を行う。		
		15週	復習・成績確認		復習と成績確認を行う。		
		16週					
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		授業の概要の説明、デモレクソン		
		2週	What makes good clothes?-1		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		3週	What makes good clothes?-2		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		4週	What makes good clothes?-3		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		5週	復習(1-3)		英文の内容や語彙などの文法要素を復習する。		
		6週	What makes good clothes?-4		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		7週	What makes good clothes?-5		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
		8週	What makes good clothes?-6		テーマに沿った英文を読み、英語で議論する。		
	4thQ	9週	復習(4-6)		英文の内容や語彙などの文法要素を復習する。		

	10週	プレゼンテーション準備	テーマに沿ったプレゼンテーションの準備をする。
	11週	プレゼンテーション	クラスメイトにプレゼンテーションを行う。
	12週	speaking test-1	speaking testを受ける。テストがない学生はオンラインの課題に取り組む。
	13週	speaking test-2	speaking testを受ける。テストがない学生はオンラインの課題に取り組む。
	14週	試験対策	試験の傾向を説明し、対策を行う。
	15週	復習・成績確認	復習と成績確認を行う。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	

				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
評価割合						
			試験	課題提出	合計	
総合評価割合			50	50	100	
基礎的能力			50	50	100	
専門的能力			0	0	0	
分野横断的能力			0	0	0	